

施設向け私物洗濯のはじめかた、やりかた

初期導入

洗濯開始の2週間前 担当者が訪問し説明や打ち合わせを行います。
利用者の一覧表をご提出頂きます。

洗濯開始の1週間前 利用者の名前入り洗濯ネットや
回収バッグなどを準備してお届けします。

集配日

打ち合わせした曜日に集配します。

週2回の例 月・木に集配

週3回の例 火・木・土に集配

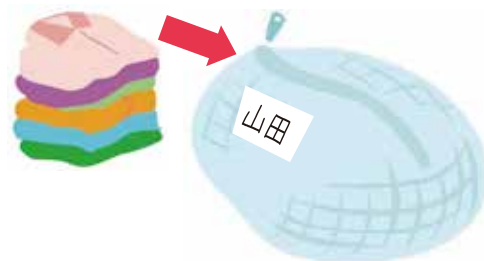
集配の度に汚れ物の回収と仕上がった洗濯物のお届けを繰り返します。



ぶーらんん!!

洗濯物の出し方

利用者様ごとに異物混入がないようにネットに入れて下さい!



利用者様ごとのネットに洗濯物を入れて下さい。
ネットに入っている洗濯物はネットと一緒にお返しします。
衣類1点1点に名前は記入しなくても大丈夫です。
工場では感染予防の観点から、検品は省略しています。
お客様が出した状態そのまま洗濯しますので、下記の点にご注意願います。

【異物混入の例】

おむつ、ティッシュ、口紅、ペン、お金、財布、時計、保険証、お菓子など

【縮んだり傷みやすいデリケート衣類】

ウール30%以上のセーター、シルク製品、皮・合成皮革、綿わた、そば枕など

※分かるように出して頂ければクリーニング処理します(別料金)

【失禁、血液汚染】

軽く水ですすぎ、絞ってビニール袋に入れて下さい。



仕上がりについて

- ・たたんでお返しします。必要な場合を除いてアイロンはかけません。
- ・シャツのボタン止めは最小限にしています。又は止めない場合もあります。(施設の介護のお手間軽減と作業効率のため)
- ・クリーニングではありませんので、シミが落ちない場合があります。(食べこぼし、医薬品、血液など)しみ抜きを希望される場合は別途料金がかかります。(シミ1か所500円~)
- ・クッションやくつは乾燥時間がかかるため納期に1週間程度かかります。

